

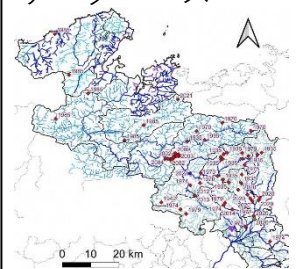
事業の背景・目的

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、府市協調により令和5年4月に設置された「きょうと生物多様性センター」として、生物多様性保全に係る関係者の連携や協力のコーディネートを行う。府内の生物多様性に関する様々な情報（生物の分布状況、保全に関わる様々な主体についての情報など）を正確かつ継続的に把握し、収集した知見を基に地域に関わる多様な主体の連携・協力を進め、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を展開する。

事業の内容

生物多様性の拠点として収集・利活用・継承に取り組み京都の生物多様性保全を推進。コーディネートなどの支援に加え多くの取組を実施

事業① 収集 データベース



事業② 利活用・ きょうと☆いきものフェス！2025



森里街川流域連携 キックオフフォーラム



企業向けセミナー



事業③ 継承 文化の観点の環境学習、担い手研修等



得られた成果

京都府における生物多様性の情報収集・利活用・継承の拠点として各主体間における連携・協力のあっせん、必要な情報の提供や助言を実施

- ・ 生物多様性情報のデータベース構築を進め（延べ14万件）、公共工事における環境配慮などに活用
- ・ 標本デジタル化システムを活用した標本のアーカイブ化に着手。府内の標本等保管情報の収集を実施。
- ・ 企業との連携や保全活動の支援を実施し、府内の生物多様性保全の取組を推進
- ・ 自然共生サイトの認定のための助言やコーディネートを実施
- ・ 個人、企業、団体等の相談に応じ、年間30件以上のコーディネートを実施
- ・ 若手のための保全研修会、夏休みの自由研究相談会などを実施し、生物多様性保全の担い手を育成
- ・ HP、SNS、メルマガによる情報発信を行い、センターの更なる認知度向上と普及啓発を実施

